

## 経営懇役員リレーエッセイ

### 運動会をおえて

宮城・(福)あゆみ会・浮島保育所 池原由美子

10月12日の秋晴れの日が今年の運動会でした。昨年は、コロナが明けて久しぶりにみんなそろっての運動会になるはずでした。が、当日ありえないほどの強風が吹き荒れ、急きょ室内で内容を縮小・分散してやることになってしまいました。今年こそは、5年ぶりにお昼をはさんで、お弁当も食べて…「みんなが繋がれる運動会に」と願っていました。

最近では、どの行事でも、保護者の方全員がスマホを子どもたちに向けて一斉に撮影を始めます。そこに、拍手や声援は生まれません。本当は、生のまなざしで子どもを見つめて応援してほしい。でも、はじまりのあいさつでは、お願いだらけにならないように、「親子の競技や、クラス対抗の綱引きなどもあるので、大人たちも子どもたちに負けない底力をみせて、楽しい運動会になるよう力を貸してほしい」と、一つだけお願いしました。

午後の大人の闘い「綱引き」では、「えいえいおー！」と円陣でかけ声を上げるクラスがあるかと思えば、父子家庭でいつもは物静かなお父さんが、勝って、お母さんたちと嬉しそうにハイタッチする姿もあり、真剣な闘いが繰り広げられました。優勝したのは、底力がものすごくすぎる「職員チーム」でした！

年長クラスの子どもたちは、戸板のぼり競争・リレーで負ければ悔し泣き、綱引きで親たちが負けたと悔し泣き・・・涙もいっぱい流したけれど、最後は、みんなで「パン食い競争」（コロナ禍はパン取り競争だった）をして、子どもも大人も笑顔いっぱいでした。

今年度から入所した子のお母さんが、「運動会らしい運動会でした」と言ってくれました。今、小学校では「順位をつけない運動会」になっていると聞きます。大事なものは、「勝ち負けの順位」でも、「できること」でもないけれど、本気の勝負の中で、子どもたちはたくさんの仲間や大人たちに見守られ、励まされながら伸びる力が必ずあるし、大人たちだって、やっぱり本気の勝負が楽しいし、本気の勝負がみんなをつなげてくれるんだなあと思わせてくれた運動会になりました。

今さら、と思われるかもしれませんが、孤独で苦しい時間を過ごした私の「コロナ」が、やっと終わったと思えた日でした。



## 保育をめぐる情勢

### ● 配置基準改定後、現場の配置状況は！？実態調査の結果公表

2024年10月17日、こども家庭庁こども家庭審議会に設けられている子ども・子育て支援等分科会の第7回会合が開催されました。この中で、2024年度から改定された保育士配置基準の改善項目がどのように実施されているかを確認するための、実態調査の結果が示されました。

### 実態調査の結果は・・・

国は、今回の基準改定が各施設にどう影響しているのか、全ての幼稚園・保育所・認定こども園を対象とした調査を、市区町村を通じて実施しました。内容は、基準改定前（2024年3月1日）と改定後（7月1日）の配置状況等について回答を求めたもので、有効回答があった約3万施設の状況をまとめた結果が公表されました。

7月1日時点では、3歳児は全体で96.2%の施設が、改善した配置を実施していることとなります。4・5歳児はやや下がり、94.4%の実施率です(図表参照)。基準改定前と改定後の実施率を比較すると、3歳児は1.9ポイント上昇、4・5歳児は3.7ポイント上昇しており、基準改定の効果と考えられます。

しかし、改善した基準での配置を実施していない施設に対し、今後の改善見込みをたずねた

ところ、約6～8割が「未定」と回答しており、保育士確保が大きな課題であることがわかります。また、基準改善前でも、全体で9割の施設がすでに改善された配置を実施していたこともわかりました。

現場任せではなく、国・自治体の責任で制度の改善を進めてほしい、と要求し続ける必要があります。

3歳児15:1を満たしている施設の割合					4・5歳児25:1を満たしている施設の割合				
【7月1日時点】					【7月1日時点】				
	幼稚園	保育所	認定こども園	全体		幼稚園	保育所	認定こども園	全体
公立	90.8%	93.3%	94.0%	93.1%	公立	96.2%	94.0%	95.9%	94.7%
私立	97.2%	97.1%	97.8%	97.4%	私立	94.7%	94.0%	94.7%	94.3%
全体	94.3%	95.9%	97.3%	96.2%	全体	95.5%	94.0%	94.9%	94.4%
【(参考)3月1日時点】					【(参考)3月1日時点】				
	幼稚園	保育所	認定こども園	全体		幼稚園	保育所	認定こども園	全体
公立	89.8%	91.9%	88.5%	91.0%	公立	95.3%	92.0%	92.6%	92.7%
私立	92.1%	95.6%	95.9%	95.5%	私立	91.5%	89.1%	91.2%	90.0%
全体	91.0%	94.5%	94.8%	94.3%	全体	93.4%	90.0%	91.4%	90.7%

## ●誰でも通園制度、制度化・本格実施に向けた検討会第3回開催

「子ども誰でも通園制度の制度化、本格実施に向けた検討会」の第3回会合が、10月30日に開催されました。

第2回検討会で整理・論議した主な検討事項は次の通りです。

- ・令和7年度の利用時間(利用可能枠)
- ・人員配置、設備運営基準
- ・安定的な運営の確保
- ・手引きのようなものの作成について
- ・総合支援システム

第3回会合では、上記について対応の方向性(案)を示し、委員に意見を求めたようです。次回第4回会合を12月上旬に開催し、取りまとめを行う予定、とされています。

### 対応の方向性～補助単価は新たに設定?

第3回検討会資料から、対応の方向性(案)をみると、現在実施中の試行的事業の内容の継続が多いのですが、変わっている点もあります。

ひとつは、補助単価です。安定的な運営の確保の課題で、補助単価を年齢に応じた設定にする、と示されました。具体的な補助単価額は予

算編成過程で検討し年末に示す、としています。あわせて、医療ケア児(2,400円)・障害児(400円)・要支援家庭のこども(400円)の加算措置を実施する方向、と提示しました。

利用時間については、引き続き「月10時間」を上限とするが、市町村が実状に応じて10時間を超えて誰でも通園制度を実施することは妨げないとし、2026年度の本格実施に向けて2025年度の実施状況等をふまえて利用可能時間の在り方を検討するという方向です。

人員配置基準・設備運営等は試行的事業での内容がほぼ引き継がれ、一時預かり事業に準ずるという内容です。

実施方法や利用方式については、本格実施する際に、法令にどこまで規定するのかも含めて、検討中であり、手引きや総合システムの問題も含め、12月にどのように取りまとめられるのか、注目する必要があります。

検討会の模様がこども家庭庁のホームページに動画で掲載されています。資料とあわせて、視聴可能です。

こども家庭庁ホーム>会議等>子ども誰でも通園制度の制度化、本格実施に向けた検討会>子ども誰でも通園制度の制度化、本格実施に向けた検討会(第3回)

## ● 公定価格の地域区分、自治体間の格差がさらに拡大する…!?

今年度の人事院勧告にて、国家公務員給与の地域手当の見直しが盛り込まれました。地域手当が、公定価格の地域区分に反映されることとなるため、地域手当見直しの内容を把握しておくことが必要です。

### 地域手当見直しの内容

都道府県を基本とし広域化する

現在は市町村ごとに決められている地域手当の級地区分・支給割合が、都道府県単位を基本とする。ただし、県庁所在地や人口 20 万人以上の市は民間賃金を反映する（都道府県とは別の区分となる）場合がある。

・見直し後は、16 都府県と 79 市に、5 つの級地・支給割合が設定される（同封資料参照）。16 都府県以外の 31 道県は非支給地・支給割合 0%となる。

・支給割合が下がるケースが多い県もあれば、上がる場合もあり、状況は様々である。

2025 年度から実施

地域手当見直しは、2025 年度から実施。引き上げも引き下げも段階的に実施。

### 公定価格に反映するとさらに格差拡大？

地域手当が、公定価格の地域区分にそのまま反映されるかどうかは、まだ示されていません。

10 月 17 日に開催された、子ども・子育て支援等分科会の資料でも検討中となっています。

しかし、このまま反映されれば格差がさらに拡大するという懸念が大きくなっています。

埼玉県知事は、「今回の地域区分が適用される場合には、県南部と東京 23 区の格差は更に大きくなる」として、「地域区分及び公定価格の格差解消に向けて、国に強くはたらきかけていく」と記者会見で発言しています（同封資料参照）。

神奈川県議会は、「市町村ごとの格差は縮小するものの、県境に接している自治体など（中略）格差が残る」として、保育士確保対策のために、地域の状況を踏まえて適切に地域区分を設定すると、と国へ意見書をあげています。

### 自治体に働きかけつつ、国に要望を！

保育士不足が全国的に深刻化している今、国家公務員の地域手当の見直しが公定価格にそのまま反映されれば、地域区分が下がる地域では職員確保の問題に直結します。公定価格の地域区分が検討されている段階で、地域の園長会や保育団体から、自治体への働きかけも含め、国に意見をあげていく必要があります。

## 11.4 保育大集会

### ● 子どもたちによりよい保育を！ ～保育士、保護者、園長も訴え

2024 年 11 月 4 日、東京・日比谷野外音楽堂にて、「すべての子どもによりよい保育を！11.4 大集会」が開催されました。全国から、保育者や保護者、子どもも含めて 1,800 人が集まりました。集会では、様々な立場から、保育・子育ての現状について報告され、経営懇会員園の園長も発言しました。

### 働き続けられる職場をつくりたいのに、 保育士がいない！（発言要旨）

園長として、職員が大切にされ、安心して働き続けられるように職場運営をしたいが、保育士不足が本当に深刻になっています。現場の保育士数はぎりぎり、急な休みや休暇が重なる



愛知・犬山さくら保育園園長

と保育体制を組むのにてんてこ舞いの状況です。休んでごめんなさいと、職員が申し訳なく感じてしまうようでは、働き続けることが厳しくなってしまう



す。自治体間格差もあり、隣の名古屋市では6人も多く配置できることとなります。どこで生まれたかによって、受ける保育の条件が違うのは不平等です。大元の、国の制度を変えないと保育現場はよくなりません。みんなで声をあげましょう。

(愛知・犬山さくら保育園園長・岡田寿美代さん)

## 保護者・保育者一緒に、声を上げよう

このほか、誰でも通園制度の試行的事業を実施している公立保育所の保育士や、軍事費より

も予算をと訴えた保護者、入所児が激減し働き続けられるのか不安を抱える保育士などの発言がありました。

集会基調報告(同封資料参照)では、運動し続けたからこそ現在の保育がある、あきらめずに声を上げ続けることが大切、と強調されました。当面、12月5日の国会要請行動に向けて、署名をさらに広げ、地元選出議員に働きかけ、各地から要請行動への参加を、と呼びかけがありました。

## お知らせ

### 経営研究セミナー

今年度の経営研究セミナーは、愛知県豊橋市にて開催します。

日時 2025年1月13~15日(月・祝~水)  
会場 ロワジールホテル豊橋  
＜対面&Zoomにて開催します＞  
費用 参加費 15,000円(会員外 18,000円)  
宿泊費 1泊2食(15,400~19,000円)  
※トリプル・ツイン・シングルによって料金が違います。部屋数には限りがあります。  
企画 1・3日目:全体会、記念講演  
2日目:講座・分科会  
※分科会は対面のみです。  
定員 会場 350名+Zoom

案内書が完成し次第、お送りいたします。

### \*全国経営懇 相談窓口\*

「法人や園の運営・経営のこと、相談したい」そんな要求に応じて、昨年度より相談窓口を開設しました。相談員は元副会長の原田秀一さん。お気軽にご連絡ください。

○相談アドレスに下記を記入し送信してください

- ①法人名・施設名・お名前・電話番号
- ②相談内容(概要など簡単に)

○メール回答。電話等での相談が必要な場合は、相談日時等をメールでお伝えします。

○相談アドレス

[haradanchi@gmail.com](mailto:haradanchi@gmail.com)

### 【経営懇活動日誌・10月】

- 10月3日(木)事務局うちあわせ。
- 10月3日(木)主任セミナーシンポジウムうちあわせ(報告者・司会・助言者の清水玲子さんがZoomで)
- 10月7日(月)三役会(国との懇談、役員会合宿にむけて)
- 10月20~21日(日~月)第3回役員会(合宿)。現場の状況についてグループ討議もまじえ論議。経営セミナー企画の検討、こども家庭庁との懇談にむけて。
- 10月21日(月)こども家庭庁懇談。国会情勢との関係で、1時間に限定。
- 10月23日(水)旅行社(勤労者レクリエーション協会)と役員・事務局で懇談。来年度の主任セミナー会場探しと、今後のセミナー会場について検討。
- 10月26日(土)57合研常任実行委員会
- 10月30日(水)主任セミナー実行委員会&会場下見(神戸・ベイシェラトンホテル)

### 同封資料

- ・人事院勧告地域手当資料
- ・埼玉県知事記者会見資料
- ・11.4保育大集会基調報告
- ・研修案内  
保育・給食セミナー  
かながわ給食セミナー

